

会員数	37,435	(前月比) +450
郵送	8,776	(前月比) +533
手配り	25,729	(前月比) -150

協同基金到達額 2,607,415,000円(4/30現在)
[前月比 16,884,000減]
協同基金出資者数 15,202名(4/30現在)
いのちを守る助け合い募金額 16,000円(4/1~30)



子どもたちに人気の
スーパーボールすくい

ステージ上の熱演に
満席の観客も大満足



第26回 耳原鳳健康まつり 吹奏楽・和太鼓・出店…… 2000人の参加で大にぎわい

第26回耳原鳳健康まつりを4月23日に開催しました。ひまわり保育園の子どもさんによる合唱、福泉中学校吹奏楽部の演奏や和太鼓サークルなど、観客席は子どもさんの雄姿を一目見ようと朝早くからたくさんの方々にご来場いただき、オープニングから満席になりました。

また、まつりを盛り上げるのに欠かせないのは模擬店です。多くの地域団体や職員がこの日のために準備したお店を出し、昼過ぎには完売のお店も出るほどの盛況でした。毎年恒例になっているまつり、来場されるみなさんや子どもたちの楽しそうな様子を見るたびに「やってよかった」と心から思います。

また、本当に地元の方々に大事にされているんだなと思う反面、厳しい医療情勢の中でその期待に応えるため気持ちを締めつける節目でもあります。このまつりをこれから先も長く続けていけるよう、もっと多くの皆さんに愛される事業所になっていきたいと思っています。

ご来場いただいたみなさま、準備・運営に携わっていただいたみなさま、本当にありがとうございました。

(耳原鳳クリニック 事務局長 大隅 利隆)

集会では、野党の国會議員、ママの会の代表者など多彩な弁士からの発言がありました。その中でフリージャーナリストの西谷文和さんの、安倍政権の思うようにさせないために「忘れなさい」「あきらめなさい」「騙されなさい」の3つが大切との発言がありました。

権力者の暴走を止めて、憲法を踏みしめる政治をやめさせるために、粘り強く活動していく思いを強くしました。集会の後には3コースに分かれてのパレード。憲法守れ、安倍政権ノーをアピールしながら歩きまわりました。多くの参加者と共に行動でき、心強い思いがしました。施行70周年を迎えた憲法が、今こそ生かされる社会に向け歩んでいきましよう。

(事務局 藤原 結樹)



5月3日、大阪市北区の扇町公園の憲法壊すなおおさか総がかり集会に、1万8千人が参加しました。

友の会・同仁会から150人以上

憲法壊すな5.3おおさか総がかり集会



「憲法守れ」とアピールしながら行進

聴診器

お天気に恵まれて、4月23日耳原鳳健康まつりは大賑わいだった。私は西區共産党後援会のテントで福島復興支援・直送品販売の店先に立った。ハチミツ、ジャム、喜多方ラーメン、桑茶、野菜ソース。ハチミツと喜多方ラーメンは根強い人気がある▼今回初めて取り組んだ桑茶と桑の実ジャムは試飲、試食販売した。桑ジャムは濃い赤紫色で、種のじやりじやりした舌触り。子ども頃、口を赤く染めて食べた桑の実を思い出して懐かしいと買ってくださった方も有り、完売した。商品は福島の「生業を返せ、地域を返せ」と生業訴訟(今年10月10日判決)をしている原告団(4200人)に加入している中小業者から仕入れている。みんなが苦難の道を歩み、地域でものづくりをがんばっている。東京電力福島第一原子力発電所の爆発による放射能被害は、事故後6年経っても終わっていない。弁護団だより「みんなして」No.62(2017年3月)によると、今年4月、福島県松枝岐村、只見町などで山菜や川魚が放射能基準値を超えて出荷停止になったという。放射能基準値を超えていないことを確認して生産、販売されているこれらの商品を買うことで「私たちは福島を忘れない」というメッセージを、私たちの運動として送り続けたい。

(山上佳代子)